

知名度向上と交流人口の拡大 に向けた取組み

(総会での木浦上越市長の説明資料より)

一 上越市のまちづくり

〇いにしえより当地域は、交通の要衝として栄え、上杉謙信公の時代には京都に次ぐ人口六万人を有し、京阪地域と交流していた。

〇上杉謙信公は、「敵に塩を送る」という故事が示すように「義」に厚く私利私欲の戦いを行わなかった武将。謙信公の教えを受けた直江兼続公も、「義」と「仁愛」の精神を貫き、戦国の乱世を生き抜いた武将である。

〇心の世紀といわれる二十一世紀の時代にこそ必要とされる謙信公の「義」の心、兼続公の「愛」の心が、この地に住む私たちにも遺伝子として脈々と受け継がれている。

二 上越市を取り巻く状況

〇この地に宿る、人や地域を思いやる「義」や「愛」の心を観光振興のみならず、福祉や教育、さらには当市のまちづくりまで拡げていきたい。

(1) 全国からの注目度
平成十九年の親鸞聖人上陸八〇〇年、二十一年のトキめき新潟国体、さらには、直江兼続公を描くNHK大河ドラマ「天地人」の放送や近隣の長野市では善光寺の御開帳が開催されるほか、今後、日本スキー発祥一〇〇周年、北陸新幹線の開業など、当市が全国に注目される機会が加速度的に訪れる。

・二〇〇九年新潟県大観光交流年事業
・トキめき新潟国体(平成二十一年)

・NHK大河ドラマ「天地人」の放送(平成二十一年)

・親鸞聖人没後七五〇年(平成二十三年)
・日本スキー発祥一〇〇周年(平成二十三年)

・北陸新幹線開業(平成二十六年)
・高田開府四〇〇周年(平成二十六年)
・市町村合併十周年(平成二十七年)

(2) 激化する都市間競争

・平成二十六年度末の北陸新幹線の開業
↓ 交流人口の拡大が、ストローク現象か、新幹線開業はまさに諸刃の剣。



として重要視されてきた都市。現在、重要港湾直江津港や高速道路を有するなど引き続き交通の要衝として、首都圏に最も近い日本海側の都市である。

〇上越人は、勤勉・実直・粘り強いという気質を有しており、優秀な人材が豊富である。現に多くの上越人が経済界で活躍している。

〇都市間競争に埋没しないよう、各界の皆様にご協力をいただきながら当市の魅力を余すことなく内外に強力に情報発信するとともに、当市や当市の産品等を①知って、②買って、③訪れていただき、その継続によって上越市が繰り返し選ばれる地域となることで、当市の知名度の向上と交流人口の拡大を図るとともに、自主財源の獲得や地域の活性化を図る。

四 当市の戦術

〇産業関係者やマスコミ、各種エージェントを対象に企業誘致、ポータルセールス、観光、米や酒等の特産品販売などを二元的にPR↓シティーセールス招へいツアー、広告掲載等

〇自然資源や歴史・文化資源、食資源を

〇当市は豊かな自然や歴史・文化が薫るまちであり、いにしえより交通の要衝

三 当市の戦略

活用したPRフィルムコミッション等

○広域連携によるPR集客プロモーションパートナー都市協定

五 更なる取組みについて

○都市イメージの向上と産品のブランド化

これまでに五回の上越市ブランド戦略会議を開催し、「雪月花の城下町、上越、美しい四季の雪が舞うまち」をキャッチフレーズに、「雪」を中核イメージとした上越市ブランド戦略を策定した。今後、市民や事業者と協働で、「雪」をキーワードとした商品開発やサービスの提供を始め、市内外への積極的な情報発信に取り組む。知名度の向上を更に図るため、シティーセルスを継続する。

六 皆様に期待すること

○都市の知名度の向上への協力

当市の情報発信能力を飛躍的に高めるためにも、一人より二人、二人より三人と、上越市のセールスマンとして、当市の魅力を内外にPRしてほしい。

○交流人口の拡大への協力

各種イベントに積極的に参加してほしい。

様々なイベントなどを当市で開催できるように、取り組んでほしい。

七 取組事例

○シティーセルスへ上越市の魅力を発信する取組みを強化し、知名度の向上等を目指す

○フィルムコミッション

○地域の景観等の資源を活用し、映画等のロケを誘致することで、知名度の向上や地域経済の活性化を図る。

・平成十八年三月九日「上越フィルム・コミッション」を設立。



映画「絆」製作記者発表会

・同年三月十四日から四月七日にかけて映画「ふみ子の海」を撮影し、主人公ふみ子の師匠役を演じた高橋恵子さんが、日本映画批評家大賞助演女優賞及び第六十二回毎日映画コンクールの女優助演賞を受賞。

・映画「絆」が平成十九年四月から五月にかけてロケを実施。十一月二十七日から十二月十五日まで市内で上映された。

・NHK大河ドラマ「天地人」の撮影についても当フィルム・コミッションで支援していく。

○各種地域資源を活用した取組み

○食文化資源

☆特産品を使った取組み

【お米】

十九年度の上越産米の品質については農家の皆様の努力もあり、一等米比率が九四％と県内でトップクラスであり、整粒歩合や食味に最も関連があるタンパク質含有量等の数値についても魚沼産米と遜色のない数値となっている。しかも毎年安定して高品質であることから全国の卸業者からの引き合いは年々強まっており、これら上越産米の強みを生かし販売促進活動を積極的に実施している。

①上越米販売促進トップセールス

近年、全国的な米消費の減退と安価で

美味しい他産地米の台頭により、上越米を含む新潟コシヒカリの販売不振が顕著化している。この状況を打開し、上越米の全量を有利に販売するために、上越地域で生産される米の約七割を集荷する「Aえちご上越」とともに、関東・中京・関西の大手卸業者を訪問し、「まじめな産地」のまじめな生産者の取組みについてPRするなど、販売促進活動を展開した。

②農に関する交流事業

○法政大学との交流

平成十五年法政大学と旧吉川町で協定を締結、平成十七年に上越市と協定を締結、交流は継続している。

○東京農工大学との交流

平成四年より実施、毎年二十人程度が柿崎区の農家に一週間程度ホームステイして農業について研修を行っている。

○東京農業大学との交流

・平成十七年より農家へのホームステイが始まる。(現在も継続)
・平成十七年に市と協定を締結、谷浜桑取地区において「中山間地有機栽培研究業務」を市から委託し研究を実施。
・平成十九年度はホームステイ、農作業体験等で五十名以上が参加。

・平成二十年四月一日、株式会社じょう

えつ東京農大を設立登記し、谷浜・桑取地区を拠点に営農活動を行う。

○生協との交流

・東京マイコープとの交流。東京マイコープの会員が田植え、草刈、稲刈、そば打ち等に一二二名が参加。

【お酒】

越後・謙信SAKEまつりの開催。会場：高田本町商店街

高田酒造組合の蔵元でつくる越後・謙信SAKEの会実行委員会は、二月二十一日〜二十七日まで東京都内において、



SAKEまつり 試飲の様子

上越清酒の販路拡大に向けた商談会や二〇〇八越後・謙信SAKEまつりなどのPR活動を展開した。

【そば】

○そばの振興

平成十九年の作付面積一七二ヘクタール。そのうち、上越ブランドとして育成している「とよむすめ」の作付面積は五十九ヘクタールで十八年比で約二倍となっている。

○上越そばまつりの開催

市内各地で栽培されているそばを一堂に集め、多くの方の上越市がそばの産地であることを発信するほか、そばの新品種「とよむすめ」のPRも行う。

【青芋（あおそ）】

○食への活用

市民プラザ内レストランの経営者と市内の料理研究家等が連携して、青芋（別名からむし）を食材として活用しようとして取り組んでおり、謙信と地産地消をテーマにした市民プラザ内レストランでは、からむしを使った料理を五月一日から提供している。

からむしは、カルシウム、ビタミンAが豊富であることから、今後は食育とも絡め、栄養価を吸収しやすいメニューを

考えていく。

◎北陸新幹線について

【北陸新幹線】

平成二十六年度末の長野・金沢間の完成を目指し、鋭意、事業の進捗を図っている。

【新駅周辺整備】

当市で進めている新幹線新駅周辺整備は、主に三つの事業により構成されている。

一つ目の新幹線新駅地区土地区画整理事業は、釜蓋遺跡（平地性環濠集落）の発見に伴い、この遺跡を地域の貴重な資源として保存活用し、今後のまちづくりを活かしていく方針。

二つ目の信越本線移設事業は、新幹線新駅は脇野田駅の西側約二〇メートルの位置に建設されることから、信越本線を新幹線脇に移設し一体的な整備を行い、新幹線駅と在来駅との乗換の利便性向上を図る。

三つ目のアクセス道路整備事業では、主要なアクセス道路となる国道十八号と新駅を結ぶ都市計画道路脇野田岡原線は、新幹線の開業時までの完成を予定し、事業に着手。

八 取組みの主な成果

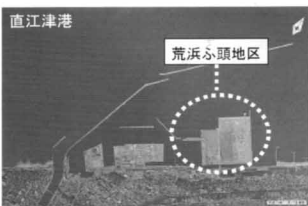
◎企業誘致について（最近の主な進出企業と本社所在地）

キッセイ薬品工業㈱（長野県松本市）
日精樹脂工業㈱（長野県坂城町）
太陽誘電㈱（東京都台東区）
㈱ナリス（上越市）

○上越火力発電所建設について

平成十九年三月二十七日、上越火力発電所一号系列の工事が着工された。

世界的に二酸化炭素排出量の削減が求められていることや中部地域の好調な経済活動による電力需要の増加、長野県への電力安定供給を図るため、五年前倒しの今年四月に二号系列の工事に着手した。



帝国石油 LNG 受入基地建設予定地概要図
（北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所より）

○帝国石油LNG受入基地建設について
帝国石油では、環境・省エネ意識の高まり、さらには原油価格の高騰を背景に、LNGの需要が高まっており、中長期的に十分な天然ガス供給能力を確保するため、パイプラインネットワークの要衝に位置する直江津港にLNG基地の建設を行うこととした。

○KDDI株式会社ロシア・日本ケーブルネットワーク建設について

平成十九年八月、直江津局(KDDI)からロシアのナホトカ局(ロステレコム)を結ぶ海底ケーブルを敷設する工事(二系統)を実施中。

当該ケーブル敷設により、ヨーロッパへの伝送距離を従来より五、〇〇〇kmから八、五〇〇km短縮することができ、テレビ伝送時の画面と音の違和感の解消に寄与できる。

地勢的に東京とロシアを結んだ最短距離の線上に位置する日本海側の都市が上越市。環日本海の日本側の玄関口としての位置的優位性を示すもの。